

【臼井先生お墓参りツアー報告】

3月1日（日）に開催されたツアーについての報告です。

3月9日が臼井先生の命日です。臼井氏のお墓は、東京都杉並区の「西方寺」にあります。

今回は、光明靈氣道の稲本先生と一緒に、お寺の住職さんにご挨拶に伺いました。海外の人も訪れるせいか、臼井先生のお墓の場所を示す看板と墓石だけが、ローマ字で記されていました。

お墓までは、誰でも自由に入ることができます。

ご住職に、勝手にお参りするより声をかけた方が良いのかお訊きすると、その必要はないとのことでした。

今回は、学会としてお墓参りをさせていただくということもあり、ご住職に挨拶をさせていただきました。

臼井先生のお墓は、敷地も大きく立派でした。

先にお参りに来られた方がいたのか、綺麗なお花が供えられていました。



臼井先生のお墓の敷地には、2代目会長の牛田さんなどが建てた石碑や松の木などがありました。

次の写真が臼井先生のお墓に刻まれた戒名です。



昭和二年三月九日
白井 不二 建之
靈山院秀誉天心居士
大正十五年 三月 九日 没

この石碑に白井氏の功績が書かれています。→



【稲本先生の講義より】

今回は、西洋でのレイキ普及に尽力された高田はわよさんと、お孫さんのフィリスさんのお墓についてもお話を聞くことができました。

高田はわよさんとフィリスさんは、海外でレイキを普及させた方ですが、宗派が浄土宗や浄土真宗だったことをお聞きし、日本的な心を持ち、日本文化への繋がりが深かったことなどがわかりました。

参加者の皆さんは、普段は本などから臼井氏を理解していましたが、稲本氏の話から改めて臼井先生や歴代のレイキ関係者の様子や活動、出来事などを知ることができ、レイキをより身近に感じ、親しみや興味が深まったと思います。

また、稲本先生からは、レイキと同じような『手当て』が外国にあったとしても、日本発祥の『レイキ』が海外に広まったという事実があり、だからこそ、日本独自の精神的な教えや感性があり、その『伝統的なレイキ』の良さを大切に伝え、普及する意味があるという話がありました。

その他にも、海外の団体であるレイキ・アライアンスの現状や、海外への普及の様子などの情報を共有していただきました。その後、参加者の質問に答えていただき、海外と日本の施術者の違いや同じ点、姿勢や心がけなどの話も伺うことができました。参加者皆さんのレイキを探求する心が一体となり、その場でしか知ることのできないレイキについての学びがあり、より深くレイキと向き合えたツアーだったのではないのでしょうか。

